

総合実習（2単位）

必修

3年海洋科・航海コース

授業の概要	（内容） 船員になるために必要なロープワークや船を動かすための操船、漁業に必要な基礎的技術について実習します。また、各海技免許講習について訓練します。		到達目標	航海・計器、漁船運用、漁業などの理解を基に、座学で出来ない項目について実習を通じて、漁業や漁船を安全に運行できる知識と技術を身につけます。 また、航海士の免状のための各種講習の実技の部分も学習し、5級海技士（航海）の筆記試験合格の到達レベルを目指します。	
	（形態） 講義・実習				
年間の授業計画	項目		内容		
	一学期	4	オリエンテーション 乗船実習事前指導	実習の内容・安全等について説明します	
		5	乗船実習	実習船「玄洋丸」にて	
		6		航海実習・マグロ延縄業実習	
		7			
	二学期	9	宏洋・和船操船・カッター	小型実習艇で操船やカッターで漕艇訓練	
		10	編網・網の修理	ロープワークの復習や網についての実習	
		11	漁業実習（蛸壺・引き縄等）	実際に漁具を作り漁業を体験します	
		12	レーダシミュレータ	レーダ演習装置船舶運用の体験をします	
	三学期	1	チャートワーク	卒業前に海図について総仕上げを行います	
		2			
		3			
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習で海に出ることが多いので安全について常に気をつけましょう。</li> <li>・挨拶、復唱、服装は実習では必要なことです。</li> <li>・基礎的なロープワークは確実に身につけましょう。</li> <li>・長期乗船実習は和が必要です。協調性をもって望みましょう。また、自分で体調管理ができることも必要となります。</li> </ul>				
評価方法	実技テスト70%		平常点30%		
	各項目について実技を体得したか、各学期の期末に評価します。 長期乗船実習中の指導教官の評価、小型実習艇の操船について理解しているか。また、各項目について知識や技術を体得したか。		服装、学ぶ意欲・態度に関して総合的に評価します。 実習に意欲的に興味を持って参加したか。 安全に配慮したか。 実習にふさわしい服装だったか。		
教材	教科書 『航海・計器』（文部科学省） 『漁船運用』（文部科学省） 『漁業』（文部科学省）		アドバイス	実習は特に、学ぶ態度・安全についての意識・実習にふさわしい服装が大切です。 実習項目を確実に身につけましょう。	